



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1767号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL (055) 972-2122
会長 岩崎 守幸 幹事 飯田 守



広重版画より 三島 朝霧

第1829回例会

2010.3.4晴

司 会

佐々木雅浩君

国歌斉唱

四つのテスト

ロータリーソング

「奉仕の理想」
指揮 石井良衛君

会長挨拶

会長 岩崎守幸君

「1日は24時間」

出生から死去まで、人間社会は不平等なものばかりだと考えている人が多いと思います。そして多くの人はずべて平等であるべきだと主張します。時には、何から何まで平等であるべきだと主張することから、平等の不平等が生まれます。全ての人に平等に与えられているものは本当はないのでしょうか。私は一つだけは間違いなくあると思うのです。それは“1日は24時間”ということです。しかも、この時間は一部の人を除いてはその多くの部分を自分の意思で自由に使う事が出来るものなのです。寝るもよし、遊ぶもよし、本を読むもよし、音楽を楽しむもよしといった具合に。この時間を如何に上手に使うかで、その人の人生が決まるのだと言っても過言ではないでしょう。時間を生かして使う事は非常に難しいことです。しかしこの時間の使い方によって人生が変わる事も確かですから、真剣にどうすれば効果的に使えるかを研究すべきだと思うのです。成功者の多くは、この時間の使い方の達人であったに違いありません。何故なら、1日は24時間万人に平等に与えられていながら、人生において大きな差が生じているからです。遅まきながら、自己啓発にこの真理を先ず認識し日々を送っている今日です。

“こんにちは、ようこそ”

ゲスト 朴 俊範さん(米山奨学生)

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	48/55	87.27%	53/55	96.36%
今回	39/51	76.47%	会員総数	55名

欠席者 井上君、遠藤(武)君、遠藤(正)君、遠藤(真)君、勝間田君、窪田君、栗田君、鈴木(雅)君、千葉君、原君、室伏君、柳田君

理事会

協議事項

- ① 苗栗扶輪社創立39周年記念式典参加のメークアップ → 承認
 - ② 次年度準備状況について → PETS 後本格始動
 - ③ 3月14日(日) PETSのメークアップ → 承認
 - ④ 井上幸子会員の出席免除届けについて → 1月～4月承認
 - ⑤ その他 例会・卓話者の変更について 今後の予定
 - ① 3月4日(水) 卓話 伊丹秀之君
 - ② 3月11日(木) IM の反省会
 - ③ 3月18日(木) 卓話 北澤誠司君(井上幸子君変更)
 - ④ 3月25日(木) 卓話 柳田英雄君(望月哲也君変更)
- 3月：識字率向上月間・テーブル会の月

2009～2010年度
国際ロータリー会長
ジョン・ケニー

ロータリーの未来はあなたの手の中に

おめでとう

会員誕生日	前田(房)君、西本君、北澤君、石井(良)君、野田君
入会記念日	鈴木(正能)君、諏訪部(照)君
奥様誕生日	石井(彰)君、鈴木(正二)君、米山君
結婚記念日	前田(房)君、米山君、矢岸君、小野君、野田君

スマイルボックス

◆鈴木(正二)君、4月8日の裾野市倫理法人会、倫理経営講演会と4月24日の明治大学マンドリン倶楽部定期演奏会のチラシを入れさせていただきました。ご関心をもってご覧下さい。チケットは私鈴木正二が売るほど持っていますので、お声かけ下さい。裾野・沼津は近いです。宜しくお願い致します。

- ◆米山君、早退します。
- ◆諏訪部(敏)君、早退します。
- ◆西本君、早退します。

卓話

出逢い(続)

伊丹秀之君

昨年1月8日、1775回例会卓話で話が途中で時間切れとなってしまいました。プログラム委員会の方たちから続きを、という計画で本日の卓話を、前回の続編として行います。

東名インターチェンジの出口の所で東京築地市場の荷渡しを沼津志下のヤマガタ食品と私と何時間も待つ日が多く、二人で待っているのはもったいないので、私の車に荷物を載せておけば、私が変わりにやりますよと言って毎日奉仕作業をやっておりましたところ、ヤマガタ食品の専務から突然電話があり「伊丹様に毎日うちの若衆が世話になり申し訳ないのでお金を取って欲しい」との申し出があり、もともと手数料欲しさの作業ではなかったのが断りましたが、これがヤマガタ食品古市様との出逢いでして、当社が冷凍食品を開始するきっかけになりました。

冷凍食品製造業は惣菜製造業とまた違った基準があり、認定工場になる為の勉強を清水の検査協会の長谷川技官にご指導を受けた訳です。大変厳しい指導でしたが、長谷川様とはいつのまにか友人関係が出来、彼が退職の際講演をさせていただきました。当社創業40周年になりますが、今まで無事故でこれたのも長谷川技官のお陰だと思っています。

冷凍製造で大変困る事は、受注数量がピッタリ作れる訳ではありません。不良品も出る。オーバーケース数も出来る。廃棄処分するのももったいない。これが今のお弁当屋マルヨの誕生となった訳です。この時率先して手伝ってくれたのが私の姉「いく」でした。不自由な建物の中でよくぞ頑張ってくれました。

毎朝3時に起き4時半頃沼津魚市場の配達をし、その足で三島青果市場に原料の買い付けに行っていました。三島青果社長でした土屋新作さんが三島西ロータリークラブを紹介して下さい、今年で26年目になります。RCでは色々な事を学ばせていただきました。入会3ヶ月の頃やめようと思った事がありました。今思うとやめなくて良かったと思います。

マルヨの会社もマルイ食品も住宅地で老朽化が進んでいたのが別転地を探していたが話が決まらずにいたところ、佐野美術館よりレストランを受けてほしいとお話をいただきました。それが今の松韻です。田中千三様という一番番頭様との出逢いでした。

私が一生懸命働いている姿を見て声をかけて下さったのが今の「せせらぎ亭」です。荒れた庭と家でしたが、磨けば輝く所だと思いました。毎日庭の手入れをしているうち、知らぬ間に庭作りと絵を描く事を覚えるようになり、今では一番の趣味となりました。田中千三様との出逢いが私を一步前に進めてくれました。

私も今年は68才になりました。28才創業で今年は40周年という節目の年となりました。2月3日の誕生日は毎年のように社員実費で私の誕生祝をしてくれます。涙が出る思いです。今は200余名を数える従業員がおりますが、この従業員との出逢いも忘れる事は出来ません。

誕生日の席上、お礼の歌、そして言葉として「本当に有難う。何もお返しが出来ぬが今年は40周年。記念として皆様に新工場を作りたい。安心・安全・健康を目的としたHACCP工場をお返ししたい。」

又、当社は創業以来、「クレームから学べ」をやり続けておりますが、作るのは人、人との出逢いが第一とつくづく思う今日この頃です。

(週報担当：花房孝光)

三島西RCテーマ

一人はみんなのために、
みんなは一人のために